趣旨・消費税の性格消費税率引上げの

転嫁を阻害する表示の是正

うな誤認を消費者に与えないようにするとともに、納入業者に対する買いたたきや、競合する小売業者の消 消費稅転嫁対策特別措置法では、あたかも消費者が消費稅を負担していない又は軽減されているかのよ 費税の転嫁を阻害することにつながらないようにするため、事業者が消費税分を値引きする等の宣伝や広告 を行うことを禁止しています(平成25年10月1日から平成29年3月31日までの措置)

▶禁戸される表示

事業者は、平成26年4月1日以後における自己の供給する商品等の取引について、 以下●~❸の表示をしてはいけません。



● 取引の相手方に消費税を転嫁 していない酒の表示

消費税は最終的に消費者が負担するものですので、以下のようなあたかも消費者が消費税を負担していないかのよ うに誤認させてしまうおそれのある表示は禁止されます。



- ▶「消費税は転嫁しません。」
- ▶「消費税を転嫁していないので、価格が安くなっています。」 ▶「消費税は一部の商品にしか転嫁していません。」
 - **▶「消費税はいただきません。」**

 - ▶「消費税は当店が負担しています。」
- **▶ 「消費税はおまけします。」**
- [消費税はサービス。]
- 消費税還元」、「消費税還元セール」
- **|当店は消費税増税分を据え置いています。|**



取引の相手方が負担すべき消費税を 対価の額から減ずる旨の表示であって 消費税との関連を明示しているもの



以下のような消費税分を値引きする旨の表示は、消費者が実質的に消費税を 負担していないかのように誤認させてしまうおそれがあることから禁止されます。

- ▶「消費税率上昇分値引きします。」
- ▶ [消費税8%分還元セール]
- **▶「増税分は勉強させていただきます。」**
- ▶「消費税率の引上げ分をレジにて値引きします。」

利益を提供する旨の表示であってのに掲げる 消費税に関連して取引の相手方に経済上の 表示に準ずるもの



以下のような消費税分の物品、金銭、映画のチケット、ポイントサービスにお 消費者が実質的に消費税を負担していないかのように誤認させてしまうおそれが けるポイントなどの「経済上の利益」を消費税に関連して提供する旨の表示は、 あることから禁止されます。

- ▶「消費税相当分、次回の購入に利用できるポイントを付与します。」
 - ▶ 「消費税相当分の商品券を提供します。」
- ▶ 「消費税相当分のお好きな商品1つを提供します。」
- ▶「消費税率の引上げ分を後でキャッシュバックします。」

禁止されない表示

欠の▮∼₨のような表示は、宣伝や広告の表示全体からみて消費税を意味することが客観的に明らかな場合でなけ れば、いずれも、消費税分を値引きする等の表示には該当しませんので、本法律で禁止されることにはなりません。

1 消費税との関連がはっきりしない

2 たまたま消費税率の引上げ幅と 一致するだけ 新生活

🛐 たまたま消費税率と一致するだけ

值下げ 3%

春のる生活応援セール



消費税の転嫁を阻害する表示に対しては、政府一丸となって 監視・取締りを行っていきます。

- ●消費者庁長官、公正取引委員会、事業を所管する大臣等、中小企業庁長官は、事業者に対して、報告を求めたり、 立入検査を行います。
- ▶消費者庁長官、公正取引委員会、事業を所管する大臣等、中小企業庁長官は、事業者に対して、違反行為を防 |公正取引委員会、事業を所管する大臣等、中小企業庁長官は、違反行為があると認めるときは、消費者庁長官 止又は是正するために、必要な指導を行います。
 - なお、違反行為が繰り返し行われている場合などには必ず措置請求を行います。 に対して、適当な措置をとるよう求める措置請求を行います。
- ▶消費者庁長官は、違反行為があると認めるときは、速やかにその行為を取りやめることその他必要な措置をとる よう勧告し、その旨を公表します。
- (注)建設業、宅地建物助引業、不動産鑑定業、浄化槽工事業、解体工事業の一部については、都道府県知事も検査や指導、消費者庁に対する指置請求を行います。

3に対する問い合わせ先 消費者庁表示対策課 03-3507-8800(代表)

模込価格を表示している商品 については、レジにてからたもつ 新校學(8%)に基プや 精算させていただきます

総額表示義務の特例

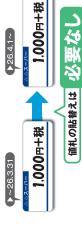
消費稅転嫁対策特別措置法では、二度にわたる消費稅率の引上げに際し、消費稅の円滑かつ適正な転 平成25年10月1日から平成29年3月31日までの間、現に表示する価格が税込価格であると誤認されない 嫁の確保及び事業者による値札の貼替え等の事務負担に配慮する観点から、総額表示義務の特例として、 ための措置を講じていれば税込価格を表示することを要しないこととされています。

※消費者の利便性に配慮する観点から、平成29年3月31日までの間であっても本特例により税込価格を表示しない事 業者は、できるだけ速やかに、税込価格を表示するよう努めなければならないと規定されています。

特例を適用した場合の事務負担の軽減

▼特例を適用する場合の例 ▶特例がない場合(総額表示義務あり)の例





ヨオャカスネヨテル ◐ 税技価格のみを表示する場合

個々の値札等において税抜価格であることを明示する例



●●●田+紫

●●●円+消費税

(4年) (4年)

※上記のような表示は、例えば、値札、チラシ、看板、ポスター、商品カタログ、インターネットのウェブベージ等において行うことが考えられます。

店内における掲示等により 一括して税抜価格がある ことを明示する例 2

個々の値札等においては、「○○○円」と税 抜価格のみを表示し、別途、消費者が商品等を選 択する際に目につきやすい場所に、明瞭に【右図】 のような表示を行うことが考えられます。



86 ⊞

く脱込価格等が 面格表示されている場合 に基づ **田税率**(

新税率の適用後においても一時的に旧税率に 基づく税込価格の表示が残る場合の表示例

個々の値札等においては、「〇〇〇円」と旧税率に基づく税込価格 を表示し、別途、消費者が商品等を選択する際に目に付き易い場所に、 明瞭に【右図】のような表示を行うことが考えられます。

税込価格の表示を行う場合の表示例 新税率の適用前から新税率に基づく 2

個々の値札等においては、「〇〇〇円」と新税率に基づく税込価格 を表示し、別途、消費者が商品等を選択する際に目に付き易い場所に、 明瞭に [右図] のような表示を行うことが考えられます。



03-3581-4111(代表) 4に対する問い合わせ先 財務省主税局税制第二課

示に係る示法の適用除外 먭

に表示されている場合には、価格について一般消費者に誤認を与えることにならないため、景品表示法 消費税転嫁対策特別措置法では、税込価格と税抜価格が併記される場合において、税込価格が明瞭 第4条第1項 (不当表示) の規定の適用が除外される旨を確認的に規定しています。

▶税込価格が明瞭に表示されているか否かの考え方と具体例

税込価格が明瞭に表示されているか否かについては、表示媒体における表示全体からみて、税込価格が一般消費者にとって見やすく、かつ、税抜価格が税込価格であると一般消費者に誤認されることがないよう表示されているか否かに

この判断に当たっては、基本的に、①税込価格表示の文字の大きさ、②文字間余白、行間余白、③背景の色との対照 性の各要素が総合的に勘案されることになります。



明瞭に表示されているとはいえない例 图 3,800円 (製売等用 ① 9,800円 1

③ 9,800円(税込10,

03-3507-8800 (代表) ■ 5 に対する問い合わせ先 消費者庁表示対策課

テル・表示カルテル

今般の消費税率の引上げに伴い、消費税を円滑かつ適正に転嫁できる環境を整備するため、消 費税転嫁対策特別措置法では、事業者又は事業者団体は、公正取引委員会に事前に届け出ること により、消費税の転嫁及び表示の方法の決定に係る共同行為(転嫁カルテル・表示カルテル)を独 占禁止法に違反することなく行うことができることとされています。

Foint O 転嫁カルテル

消費税の 転嫁の方法の決定

転嫁カルテルとは、「消費税の転嫁の方法の決定」についての共同行為です。 転嫁カルテルとして行うことができる行為は、例えば、以下のとおりです。 転嫁カルテルを行うことができるのは、主に中小事業者やその団体です。

▶各事業者がそれぞれ自主的に定めている本体価格に消費税 額分を上乗せする旨の決定

中小事業者とは?

製造業・建設業・運輸業等

3億円以下xは300人以下

- ▶消費税率引上げ分を上乗せした結果、計算上生じる端数に ついて、対象となる商品の値付け単位、取引慣行、上乗せ 前の価格からの上昇の度合等を考慮して、切上げ、切捨て、 四捨五入等により合理的な範囲で処理する旨の決定
- ◎1 本体価格98円×8%=消費税額7.84円 → 8円 例2 本体価格93円×8%=消費稅額7.44円

1億円以下xは100人以下

[以下のような行為は認められません]

- ▶消費税率引上げ分と異なる額(率)を転嫁する旨の決定 又は税込価格を統一する旨の決定
 - ▶合理的な範囲を超える不当な端数処理を行う旨の決定

- ▶消費税率引上げ後の税抜価格 (本体価格)

は このほか、政令 による特例があります。

(資本金規模・従業員規模)

なびだ

5千万円以下xtt50人以下

小売業

5千万円以下xは100人以下)

サービス業

→ 7円

以下の期間の共同行為が認め られます N 烘 と表示の方法の決定に係る共同行 転嫁の方法の決定に係る共同行為

象とした共同行為が独占禁止法の適用 日までの間の商品又は役務の供給を対 ▼平成26年4月1日から平成29年3月31 除外の対象となります。

▶転嫁の方法の決定に係る共同行為には参加事

の決定に係る共同 行為を行う際には

及び表示の方法

消費税の転嫁

為とでは、要件が異なります

業者の3分の2以上が中小事業者であること ★ 表示の方法の決定に係る共同行為は、

が必要です。

次の点に御注意

ください

注 届出は平成25年10月1日から可能

全ての事業者又は事業者団体に認めら

員会への事前の届出が必要です

▶届出書の様式など、具体的な届出の方法につ て、共同行為の内容等について、事前に届け 出る必要があります。

6 に対する問い合わせ先 公正取引委員会 取引企画課

POINT ② 表示カルテル

消費税についての 表示の方法の決定

表示カルテルとは、「消費税についての表示の方法の決定」についての共同行 為です。表示カルテルは、全ての事業者又は事業者団体が行うことができます。 表示カルテルとして行うことができる行為は、例えば、以下のとおりです。

- ▶消費税率引上げ後の価格について統一的な表示方法を用いる旨の決定
- ア 税込価格を表示する場合
- 例1 「税込価格」と「消費税額」とを並べて表示 例2 「税込価格」と「税抜価格」とを並べて表示
- 税込価格を表示しない場合
- (4 総額表示義務の特例(9頁~10頁)を利用する場合)
- 例2 個々の値札は税抜価格を表示した上、商品棚等の消費者に見やすい場所に、「消費税は別途いただきます」 例1 個々の値札に、税抜価格を表示した上、「+税」と表示する旨の決定 などと表示する旨の決定



形式上、表示の方法を決定するものであっても、共同行為の内容に転嫁カルテルの内容が含まれてい る場合には、「転嫁カルテル」の届出が必要です」 🖙 [POINT]

▶消費税率引上げ分を消費税率引上げ前の対価に上乗せした結果、計算上生じる端数を切上げにより処理して、税込 価格を表示する旨の決定 (具体例)

共同行為を行う場合、公正取引委

▶共同行為を行うには、公正取引委員会に対し

いては、公正取引委員会ホームページ (http:// www.jftc.go.jp/)を御覧ください。

40[恒) 世

主的な判断に委ねられており、この法律によって、共同行為の 共同行為はあくまでも任意のものです。 これを行うかどうか これに参加するかどうかは、個別の事業者又は事業者団体の自 実施や参加を強制するものではありません



N

したがって、左の事業者の例では、事業全体としてめ来上げ増が理論値と一致していることから、区間Bについて56%の引上げがあることをもつて便乗値上げであるとは言えません。

(108-105)/105=2.85%

の値上げが予想されます。

σ

⋖

自信

早

比入価格

٥

m

9%

便乗値上げ



便乗値上げは、いけません。

~消費者の生活に好ましくない影響を与えることが懸念されます。~

便乗値上げとは

昇することが見込まれています。したがって、事業者が、他に合理的な理由がないにもかかわらず、税率の 今回の消費税率の引上げに当たっては、個々の商品 やサービスの価格が、新たな税負担に見合った幅で上 上昇に見合った幅以上の値上げをする場合、それは便 乗値上げである可能性があります。

め、実際にどのような場合に便乗値上げに該当するの 特性、需給の動向やコストの変動など、種々の要因を ただし、一般に、個々の商品などの価格は、自由競 争の下で市場条件を反映して決定されるものであるた かを判断するに当たっては、それが税負担の変化によ る上昇幅を超えているかという点のほか、商品などの 総合的に勘案する必要があります。 ちなみに、課税される商品やサービスについて、本 体価格が全く変わらなければ、消費税率の引上げなど 税抜価格の場合で、それぞれ次のようになると考えら が行われた後の価格は、総額表示(税込価格)の場合、

1 万円の商品・サーバスの値上げについて

(※) 本体価格は、消費税率の引上げ後も従前と変わらないものとします。

|万円と表示されている場合 総額表示 (税込価格)で



补 存



便乗値上げに当たらないもの2 **含まれる税額を転嫁する場合~** ~免税事業者が仕入価格に 便乗値上げのように見えて、

免税事業者が消費税率の引上げに際して値上げをする場合、一見便乗値上げではないかと思われますが、免税事 業者であっても、その仕入価格には消費税が含まれていることから、これに相当する額を価格に転嫁することは便乗 値上げに当たりません。

免税事業者が仕入価格に含まれる税額を転嫁する場合について

課税事業者

自

品 Þ

完上げ

10,800円

1万円と表示されている場合

2 税抜価格で

2 免税事業者



3の納税を行う必要がないので、**3 + b**の値上げは予定されていない。

本体価格

治費税率の引上げに伴い、免税事業者では、仕入価格が高くなった分(= p) の値上げが行われることになります。

- 7 に対する問い合わせ先 消費者庁消費生活情報課 03-3507-8800(代表) 約税義務者として、Aに加え新たに3の約税を行う。 bについては仕入価格の上昇として負担。



~事業全体で適正な転嫁をしている場合~ **便乗値上げのように見えて、便乗値上げに当たらないもの[1**

ある特定の商品やサービスにつき、他に特段の理由がないにもかかわらず、本体価格の3%を超える値上げが行 われた場合、その商品やサービスだけを見ると、便乗値上げであるように思われますが、その事業者が、事業全体 として税率変更に見合った適正な転嫁をしていれば、便乗値上げには当たりません。

各種の運賃など、取引慣行や利用者の便宜などを考慮して10円単位で税込価格が設定されているものの場合、あるものについては据 置きとする反面、あるものについては3%を超える値上げとすることもあります。

事業全体として適正な転嫁を行っている場合の例

理論的には、総額表示(内稅)の商品について 本体価格が一定である場合、稅率が5%から8 %に引き上げられることによって、 (区間A、Bともに総額表示)

据置き (引上げ率=0.00%)	10円引上げ (引上げ率=5.56%)	(增加率=2.85%)
150円	190円	270.0 (百万円)
1	1	1
150円	180円	262.5 (百万円)
医間A (85万人利用)	医間B (75万人利用)	事業全体の売上げ

※上記の事例は、実際の運賃などとは関係ありません。

 $_{\odot}$

8 消費税価格転嫁等総合相談センター



消費税価格転嫁等総合相談センターは 内閣府が設置している政府共通の 相談窓口です。

センターでは次のような相談を受け付けます。

- 転嫁に関する問い合わせ 広告・宣伝に関する問い合わせ
- 消費税の総額表示に関する問い合わせ 便乗値上げに関する問い合わせ
- センターでは、このような相談に関して、法令等の考え方を回答するほか転嫁拒否など消費税転嫁対策特別措置法に違反する疑いのある行為については、相談者の御意向により、センターから担当省庁へ通知します。

御相談は専用ダイヤル又はHP上の専用フォームを御利用下さい。

専用ダイヤル: 0570-200-123

【受付時間】平日 9:00~17:00 (平成26年3月・4月は土曜日も受付)

※通話料金はお住まいの地域に応じて以下の料金がかかります。なお、実際にかかる金額は音声ガイダンスで御案内しております。●固定電話からは 8.5円~80円/3分間 ●携帯電話からは 90円/3分間 ●公衆電話からは 30円~220円/3分間

URL

(24時間受付)

http://www.tenkasoudan.go.jp



お問い 合わせ先 「一 覧〕 転嫁拒否等の行為の是正、転嫁カルテル・表示カルテルに関する問い合わせ先

公正取引委員会取引企画課 **03-3581-5471** (代表)

転嫁を阻害する表示の是正に関する問い合わせ先

消費者庁表示対策課

03-3507-8800(代表)

消費税の総額表示義務の特例に関する問い合わせ先

財務省主税局税制第二課

03-3581-4111(代表)

便乗値上げに関する問い合わせ先

消費者庁消費生活情報課

03-3507-8800(代表)